

人権・同和教育シリーズ No.98

ある女性ドライバー〈ジェンダーを考える〉

西条市教育委員会 丹原分室

Mさんは、37年間にわたりタクシーの運転手をしていましたが、77歳の誕生日に会社の制限年齢を迎えたことを機に引退を決意しました。

当時、女性のタクシー運転手はめずらしい時代でした。女性であっても男性と同じように仕事ができる…と信じてタクシー業界に入ったMさんは、いつもベレー帽をかぶり、一日も欠勤せずにハンドルを握り続けたことを誇りにしています。

ある日、高齢の男性を乗せたときのことで。目的地は墓地だということで連れて行く、思うように動かない手足で一生懸命墓石の掃除を始めました。妻の墓ということで、Mさんも一緒に手伝い、きれいに清掃ができました。

その後、その男性から乗車の指名がよくかかってきたそうです。手伝ってくれたお礼の気持ちだったのかもしれない。

また、引退する最後の日に乗せたお客さんは、今日で引退することを話すと、最後の客になれたことに感激し、料金とは別に「ご祝儀」を差し出したそうです。

Mさんは、「女性の与える安心感や細やかな対応は、タクシー運転手にとって最も必要なこと、女性であってもこの世界で男性に負けない仕事はできる」と話しています。

深夜、最後の乗務を終えて会社に戻り、37年間の運転手人生を振り返りながら、車をいっくしむように丹念にブラシをかけました。

長い間、社会的習慣によって作り上げられた「男性像」「女性像」があっても、自分の能力や個性を十分に発揮することによって、自分らしく人間らしく生きることは可能です。もつと女性にもこの世界に飛び込んでもらいたい…とMさんは述べています。

※ジェンダーとは、生まれつきの性別のほかに、習慣や社会によって作り上げられた男性、女性の別を言います。性別による固定的な役割分担が差別や偏見につながる場合もあります。



ありがどう
ございました

次の方々からご厚志をいただきました。
心からお礼申し上げます。
(順不同 敬称略)

まごころ銀行へ

■個人

- 田坂幸 (大町)
- 柳瀬英子 (壬生川)
- 鈴木清志 (上市)
- 山下美津子 (三芳)
- 十亀直敏 (河之内)
- 大亀隆晴 (丹原町来見)

■各種団体

- 西条高等学校
- 愛媛県東予地方局課税課
- 創作の家陶芸クラブ
- 高砂演歌クラブ
- (株)こっこー
- らーめん工房りょう花生川店
- 国際ソロプチミストいしづち
- 丹原東中学校PTA
- 中川小学校



臨床心理士による 「こころの健康電話相談」

心配事や悩み事を抱えて、一人で悩んでいませんか。

家庭や職場、心と身体の不調などについて、臨床心理士が電話で相談に応じます。



■日時

1月27日(日) 9時～17時

■電話番号 (当日のみ)

089-956-2810・089-956-2811

■主催

愛媛県臨床心理士会

人権擁護委員が委嘱されました

1月1日付けで、法務大臣から次の方が人権擁護委員に委嘱されました。

○國田典良氏 (中西)・・・新任

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づき委嘱された私たちの街の相談パートナーです。

暮らしの中での悩みや心配事、困り事のある方は、お近くの人権擁護委員にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

人権相談は毎月実施しており、日程や実施場所は、定期無料相談(30ページ)に掲載しています。

■問合せ 市庁舎本館市民生活課 TEL0897-52-1243